横浜市立市民病院　手術部門システム　入札仕様書

機器の名称	手術部門システム		
機器構成		品名	数量
	1	メインサーバ	1
	2	バックアップサーバ	1
	3	連携サーバ	1
	4	ゲートウエイサーバ	1
	5	管理者用端末	4
	6	センター端末	1
	7	麻酔器搭載端末（デスクトップ）	9
	8	手術室内ステータス表示用パソコン	1
	9	手術室内ステータス表示用ディスプレイ	6
	10	看護師用端末（ノート型）	13
	11	看護師用パソコン搭載カート	10
	12	麻酔科控室用パソコン（デスクトップ型）	2
	13	カラーレーザプリンタ	3

番号	機能区分	小分類	仕様
1　1　1	ハードウエア（メインサーバ）	CPU	CPUはIntel社製 Xeonプロセッサー―E5-2603相当以上を搭載すること。
1　1　2		メモリ	8.0GB以上のメモリを搭載すること。
1　1　3		ハードディスク	ハードディスクは合計2400GB以上とし、RAIDコントローラによるRAID1もしくはRAID5構成、且つホットプラグに対応した構造であること。
1　1　4		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
1　1　5		オペレーティングシステム	オペレーティングシステム（以下「OS」という。）はMicrosoft社製Windows Server 2012 日本語版もしくはRed Hat Enterprise Linux ES(v.5 for x86)相当以上であること。
1　1　6		データベースソフト	データベースソフトは、Microsoft社製SQL Server 2012または、Oracle11g相当以上であること。
1　1　7		データバックアップ	メインサーバとバックアップサーバはソフトウエアクラスタリンクまたは、ハードディスクの冗長化やバックアップサーバによるバックアップ等を行い、サーバが故障した場合でもデータ保持を行える仕組みであること。
1　1　8		サーバ設置	サーバ本体は当院指定場所に設置すること。サーバラックへの固定その他設置にかかる費用はすべて含むこと。
1　2　1	ハードウエア（バックアップサーバ）	CPU	CPUはIntel社製 Xeonプロセッサー―E5-2603相当以上を搭載すること。
1　2　2		メモリ	4.0GB以上のメモリを搭載すること。
1　2　3		ハードディスク	ハードディスクは合計2400GB以上とし、RAIDコントローラによるRAID1もしくはRAID5構成、且つホットプラグに対応した構造であること。
1　2　4		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
1　2　5		オペレーティングシステム	オペレーティングシステム（以下「OS」という。）はMicrosoft社製Windows Server 2012 日本語版もしくはRed Hat Enterprise Linux ES(v.5 for x86)相当以上であること。
1　2　6		サーバ設置	サーバ本体は当院指定場所に設置すること。サーバラックへの固定その他設置にかかる費用はすべて含むこと。
1　3　1	ハードウエア（連携サーバ）	CPU	CPUはIntel社製 Xeonプロセッサー―E5-2603相当以上を搭載すること。
1　3　2		メモリ	4.0GB以上のメモリを搭載すること。
1　3　3		ハードディスク	ハードディスクは合計292GB以上とし、RAIDコントローラによるRAID1もしくはRAID5構成、且つホットプラグに対応した構造であること。
1　3　4		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
1　3　5		オペレーティングシステム	オペレーティングシステム（以下「OS」という。）はMicrosoft社製Windows Server 2012 日本語版もしくはRed Hat Enterprise Linux ES(v.5 for x86)相当以上であること。
1　3　6		サーバ設置	サーバ本体は当院指定場所に設置すること。サーバラックへの固定その他設置にかかる費用はすべて含むこと。
1　4　1	ハードウエア（ゲートウエイサーバ）	CPU	CPUはIntel社製 Xeonプロセッサー―E5-2603相当以上を搭載すること。
1　4　2		メモリ	4.0GB以上のメモリを搭載すること。
1　4　3		ハードディスク	ハードディスクは300GB×3以上とし、RAIDコントローラによるRAID1もしくはRAID5構成、且つホットプラグに対応した構造であること。
1　4　4		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
1　4　5		オペレーティングシステム	オペレーティングシステム（以下「OS」という。）はMicrosoft社製Windows Server 2012 日本語版もしくはRed Hat Enterprise Linux ES(v.5 for x86)相当以上であること。
1　4　6		サーバ設置	サーバ本体は当院指定場所に設置すること。サーバラックへの固定その他設置にかかる費用はすべて含むこと。

番号	機能区分	小分類	仕様
1　5　1	ハードウエア （管理者用端末）	基本性能・必要数量	ノート型15インチを3式および12.1インチ1式、計4式納品すること。出力端子はHDMIを有すること。
1　5　2		CPU	CPUはCore i5相当以上であること。
1　5　3		メモリ	4GB以上のメモリを搭載すること。
1　5　4		ハードディスク	ハードディスクは500GB以上を有すること。
1　5　5		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-Tに対応していること。
1　5　6		オペレーティングシステム	OSはMicrosoft社製Windows 7 Professional 日本語版相当以上であること。
1　5　7		アプリケーション	Microsoft Office professional 2013をインストール済みであること。
1　5　8		付属品等	USB接続タイプ／光学式マウスを有すること。
1　6　1	ハードウエア （サーバの設置、保守体制）	保守、その他に関する要件	サーバのメーカについては各社提案による。端末を含めたその他周辺機器については、既存の医療情報システムと一体的な保守ができるよう留意すること。
1　6　2		サーバ設置および 電源障害時対応	サーバは当院が指定する場所に設置すること。設置に係る費用はすべて含むこと。電源障害時にはサーバの自動シャットダウン機能を持つこと。さらにデータバックアップ機能を持つこと。
1　7　1	ハードウエア （センター端末）	必要数量	下記構成のクライアント端末を1式納入すること。
1　7　2		CPU	CPUはCore i5相当以上であること。
1　7　3		メモリ	4GB以上のメモリを搭載すること。
1　7　4		ハードディスク	ハードディスクは100GB以上を有すること。
1　7　5		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-Tに対応していること。
1　7　6		付属品等	USB接続タイプ／光学式マウスを有すること。
1　7　7		オペレーティングシステム	OSはMicrosoft社製Windows 7 Professional 日本語版以上であること。
1　7　8		ディスプレイ	19inch以上カラー液晶ディスプレイ（解像度：1280×1024以上）を装備すること。
1　8　1	ハードウエア （麻酔器搭載用端末）	必要数量	下記構成のクライアント端末を9式納入すること。
1　8　2		CPU	CPUはCore i5相当以上であること。
1　8　3		メモリ	4GB以上のメモリを搭載すること。
1　8　4		ハードディスク	ハードディスクは100GB以上を有すること。
1　8　5		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-Tに対応していること。
1　8　6		基本性能、付属品等	本端末は既存病院情報システム用端末と相乗りすること。本端末は当院が指定するものとし、光学マウス、マウスパッド、バーコードリーダ、静脈認証機器を各々付属すること。
1　8　7		オペレーティングシステム	OSはMicrosoft社製Windows 7 Professional 日本語版以上であること。
1　8　8		ディスプレイ	タッチパネル方式の19inch以上カラー液晶ディスプレイ（解像度：1280×1024以上）を装備すること。
1　8　9		ハードウエアの設置	ハードウエアはすべて当院の麻酔器に設置すること。設置にかかる費用はすべて含むこと。

番号	機能区分	小分類	仕様
1　9　1	ハードウエア（ステータスモニタ）	必要数量	下記構成のクライアント端末を1式納入すること。
1　9　2		CPU	CPUはCore i5相当以上であること。
1　9　3		メモリ	4GB以上のメモリを搭載すること。
1　9　4		ハードディスク	ハードディスクは100GB以上を有すること。
1　9　5		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは1000Base-Tに対応していること。
1　9　6		付属品等	USB接続タイプ／光学式マウスを有すること。
1　9　7		オペレーティングシステム	OSはMicrosoft社製Windows 7 Professional 日本語版以上であること。
1　9　8		ディスプレイ分配器	映像を出力できるディスプレイ分配器を装備すること。
1　9　9		外部ディスプレイ	上記2-3-8の分配器に接続する42inch以上カラー液晶ディスプレイ（解像度：1280×1024以上）を6式用意し当院の指定した場所に設置すること。
1　10　1	ハードウエア（看護師用端末）	必要数量	下記構成のノート型クライアント端末を13式納入すること。
1　10　2		基本性能、付属品等	本端末は既存病院情報システム用端末と相乗りすること。本端末は当院が指定するものとし、光学マウス、マウスパッド、バーコードリーダ、静脈認証機器を各々付属すること。
1　10　3		電子カルテ用カート	当院の指定する電子カルテカートを10式納入すること。
1　11　1	ハードウエア（麻酔科控室用端末）	必要数量	下記構成のデスクトップ型クライアント端末を2式納入すること。
1　11　2		基本性能、付属品等	本端末は既存病院情報システム用端末と相乗りすること。本端末は当院が指定するものとし、光学マウス、マウスパッド、バーコードリーダ、静脈認証機器を各々付属すること。
1　12　1	ハードウエア（カラーレーザプリンタ）	必要数量	下記構成のカラーレーザープリンタを3式納入すること。
1　12　2		基本性能	A3用紙の印字に対応できること。
1　12　3		ネットワーク	ネットワークインターフェイスは100Base-TXに対応していること。
2　1　1	ソフトウエアに関する要件	手術スケジュール作成機能	手術申込み情報として診療科名、手術予定日、患者ID番号、患者氏名、生年月日、年齢、性別、身長、体重、病棟、希望麻酔方法、手術開始時刻、手術予定時間、感染症の有無、術者名、病名、術式名、体位、術中使用の特殊装置、コメントを電子カルテシステムより取得し表示する機能を有すること。
2　1　2		手術スケジュール作成機能	身長体重を入力したら、体表面積（BSA）を自動計算できること。
2　1　3		手術スケジュール作成機能	手術室に対しての症例割り付けができること。
2　1　4		手術スケジュール作成機能	医療情報システムより看護師の勤務表を取得し、看護師の割り付けに利用できること。
2　1　5		手術スケジュール作成機能	手術スケジュール作成時の割付の際、スタッフの重複や、器材の重複に対しアラームで警告する機能を有すること。
2　1　6		手術スケジュール作成機能	緊急患者入室の際は、手術申し込みがない状態でも記録を開始でき、後から申し込みを受信した場合には、患者IDをキーとして紐づけができること。

番号	機能区分	小分類	仕様
2　1　7	ソフトウエアに関する要件	手術スケジュール作成機能	手術スケジュール作成の際に、マウスによるドラッグ＆ドロップ操作できる機能を有すること。
2　1　8		手術スケジュール作成機能	手術予定表を印刷する機能を有すること。
2　1　9		手術スケジュール作成機能	本システムで作成した手術予定を電子カルテシステムに反映できること。
3　1　1		センター機能	指定した日付の手術予定一覧を表示できること。
3　1　2		センター機能	期間指定無く患者IDで患者検索できること。
3　1　3		センター機能	手術中止症例、麻酔科非関与症例の表示有無を選択できること。
3　1　4		センター機能	手術予定一覧画面上で、術前回診の実施有無や麻酔サマリの作成が完了しているかなどのステータスが一覧表形式で確認できること。
4　1　1		術前回診機能	術前回診機能
4　1　2		術前回診機能	麻酔の承諾、輸血の説明、ICU入室予定、挿管困難度の予測についてのチェック項目を入力する機能を有すること。
4　1　3		術前回診機能	麻酔方法は、導入方法、維持方法、特殊麻酔方法別にリスト選択方式で入力する機能を有すること。
4　1　4		術前回診機能	既往症、使用薬、術前偶発症をリスト選択方式で入力する機能を有すること。
4　1　5		術前回診機能	内服薬、既往歴、アレルギー情報、輸血歴、嗜好について医療情報システムからデータを取得できること。
4　1　6		術前回診機能	手術部看護師に対する麻酔用器材、薬剤の指示内容を入力する機能を有すること。
4　1　7		術前回診機能	術前検体検査データを医療情報システムから自動取得できること。
4　1　8		術前回診機能	術前回診記録はタブレット端末で入力、参照できること。
4　1　9		術前回診機能	上記術前診察内容は病棟に設置されている病院情報システムの任意の端末のWEBブラウザー上またはJava Web Startソフトウエアを利用してアプリケーションを起動し、入力、保存できる機能を有すること。
5　1　1		麻酔記録作成機能	麻酔記録画面は、トレンド画面、イベント画面、リマークス画面、体位／ライン画面、サブトレンド画面、薬剤画面、IN／OUT画面、術中血液分析検査データ画面、リマークス画面から構成され、トレンド画面、イベント画面、リマークス画面、体位／ライン画面は常に表示される機能を有すること。
5　1　2		麻酔記録作成機能	サブトレンド画面、薬剤画面、IN／OUT画面、術中検査データ画面、リマークス画面は、画面切り替えをすることなく、スクロールすることですべて参照できる機能を有すること。
5　1　3		麻酔記録作成機能	サブトレンド画面、薬剤画面、IN／OUT画面、術中検査データ画面、リマークス画面の表示順序はカスタマイズできる機能を有すること。
5　1　4		麻酔記録作成機能	1画面に表示する時間幅は、1時間、2時間、3時間または4時間、6時間及び12時間の時間幅から選択する機能を有すること。
5　1　5		麻酔記録作成機能	どの表示時間幅の場合でも、トレンド情報、イベント情報、リマークス情報、薬剤投与情報、体位／ライン情報は各情報の記録時間をもとに時系列が把握できる表示ができる機能を有すること。
5　1　6		麻酔記録作成機能	トレンド表示のトレンドデータの種類、表示色、スケールは術中においても任意に選択する機能を有すること。
5　1　7		麻酔記録作成機能	術前回診画面、IN／OUTバランス画面、退室時サマリ画面、実施情報確認画面を有し、アイコンボタンを押すことにより参照できる機能を有すること。
5　1　8		麻酔記録作成機能	イベント入力画面、硬膜外情報入力画面、脊椎麻酔入力画面、局所麻酔入力画面、挿管／抜管画面、薬剤入力画面、IN／OUT入力画面、術中検査データ入力画面、体位／ライン情報入力画面、リマークス入力画面、退室時サマリ画面はそれぞれ入力必要事項をまとめた専用画面を有すること。
5　1　9		麻酔記録作成機能	硬膜外情報入力画面、脊椎麻酔入力画面、局所麻酔入力画面、挿管／抜管画面、退室時サマリ画面は導入時の打ち合わせによりカスタマイズできること。

番号	機能区分	小分類	仕様
5 1 10	ソフトウエアに関する要件	麻酔記録作成機能	麻酔記録作成機能の基本操作として、タッチ画面を活用することができ、マウスの右クリック操作を用いることなくすべての入力ができる機能を有すること。
5 1 11		麻酔記録作成機能	イベント、リマークスの入力は処置中での入力を考慮し、ペン等のツールを用いる事無く、タッチディスプレイに対しての手入力が可能なインターフェース機能を有すること。
5 1 12		麻酔記録作成機能	患者入室／退出時刻、麻酔開始／終了時刻、手術開始／終了時刻、挿管／抜管情報をイベント情報として記録し、画面上にイベントマークで表示する機能を有すること。また、イベントマークを選択することにより、別画面を開くことなく、ポップアップで内容を表示できること。
5 1 13		麻酔記録作成機能	記録されたイベント情報から手術時間、麻酔時間、各種加算を自動的に計算する機能を有し、診療報酬請求を行える機能を有すること。
5 1 14		麻酔記録作成機能	入力したリマークス、体位・ライン情報はアイコンもしくは番号で表示され、入力した時間の時間軸にあわせて表示する機能を有すること。また、入力した内容は、別画面を開くことなく内容を確認できる機能を有すること。
5 1 15		麻酔記録作成機能	体位を入力した場合、麻酔記録画面には体位の絵を用いたアイコンを表示できる機能を有すること。
5 1 16		麻酔記録作成機能	輸液、輸血／出血、尿のIN／OUTデータは増分入力、全量（積算）入力の2つのどちらのモードでも入力でき、実施情報をIN／OUT画面に表示する機能を有すること。
5 1 17		麻酔記録作成機能	薬剤名リストは麻酔薬、外用薬、などの分類ごとに分けられ、選択した種類に応じた薬剤名が表示される機能を有すること。
5 1 18		麻酔記録作成機能	薬剤名リストの表示画面で、薬剤の検索ができる機能を有すること。
5 1 19		麻酔記録作成機能	薬剤マスタは医療情報システムから自動取得できること。
5 1 20		麻酔記録作成機能	1つの薬剤名称に対して、複数の薬剤を混ぜ合わせたセットを登録できる機能を有すること。この場合、混ぜ合わせる割合はセットから選択時に変更できること。
5 1 21		麻酔記録作成機能	新規薬剤選択時に、投与種別（ボーラス／持続）、経路情報を同一画面で決定できる機能を有すること。
5 1 22		麻酔記録作成機能	薬剤選択時には、すでに入力済みのライン情報が優先的に表示され、経路情報として利用できる機能を有すること。
5 1 23		麻酔記録作成機能	脊椎麻酔イベント画面、局所麻酔イベント画面で入力した薬剤は、自動的にIN画面に薬剤名称、投与量が表示される機能を有すること。
5 1 24		麻酔記録作成機能	持続薬剤に対して加薬の入力を行った場合、IN項目は持続薬剤の下の行に加薬を示すマークと共に加薬薬剤を表示できる機能を有すること。
5 1 25		麻酔記録作成機能	輸液の停止と共に次の新規輸液を選択する行為を一連の操作でできる機能を有すること。
5 1 26		麻酔記録作成機能	輸血情報入力時に、U（ユニット）、mlのどちらの単位でも入力できる機能を有すること。また、U入力時には自動的に合計量はmlへ変換される機能を有すること。
5 1 27		麻酔記録作成機能	IN／OUTバランス表は、入力されたIN／OUT情報から、晶質液、膠質液、血液製剤、尿量、濃厚赤血球等に自動的に分類、計算される機能を有すること。
5 1 28		麻酔記録作成機能	リマークス（定型文入力）内容は、麻酔管理、手術操作、合併症等の分類に分けて設定することができ、リストから選択ことで入力できる機能を有すること。また、選択後に任意の文言に修正できる機能を有すること。
5 1 29		麻酔記録作成機能	入力されたリマークス情報を時系列で表示するリマークス画面を持ち、麻酔記録画面上で表示のON/OFFができる機能を有すること。
5 1 30		麻酔記録作成機能	リマークス画面では、イベント、薬剤、体位、リマークスの分類で表示の絞込みができる機能を有すること。
5 1 31		麻酔記録作成機能	プロポフォール、レミフェンタニル、リドカイン、フェンタニルなどの薬剤に関して、予測血中濃度、効果部位濃度をシミュレーションする機能を有すること。
5 1 32		麻酔記録作成機能	麻酔ガスなど計算が必要な薬剤も、自動的に時間計算を行い請求できる機能を有すること。
5 1 33		麻酔記録作成機能	麻酔記録画面のまま他の画面に移動することなく、任意の患者に切り替えて、麻酔記録画面を表示できる機能を有すること。
5 1 34		麻酔記録作成機能	予め決定した入力項目が未入力になっている場合には、警告を出すこと。

番号	機能区分	小分類	仕様
6　1　1	ソフトウエアに関する要件	看護術前、術後訪問記録機能	術前訪問、術後訪問記録を作成できる機能を有すること。
6　1　2		看護術前、術後訪問記録機能	術前訪問、看護計画、術後訪問記録はWEBブラウザーまたはJava Web Startソフトウエアを利用してアプリケーションを起動し、入力が可能であること。
7　1　1		看護記録作成機能	麻酔記録クライアントで入力されたデータ及び手術室生体情報モニタからのトレンドデータを表示し、看護記録のデータ、各種イベントを入力することができる機能を有すること。
7　1　2		看護記録作成機能	看護記録として構成される画面には、術中体位、術中バイタルトレンド、経過記録、観察データ、薬剤、看護イベントが表示できる機能を有すること。
7　1　3		看護記録作成機能	術中バイタルトレンドは表示のOn／Offができる機能を有すること。
7　1　4		看護記録作成機能	術中に使用した薬剤のデータを入力する機能を有すること。
7　1　5		看護記録作成機能	シェーマーを用いた記録が行える機能を有すること。
7　1　6		看護記録作成機能	シェーマーは当院が指定したものを作成、登録し、手術中に利用できること。
7　1　7		看護記録作成機能	尿量などのアウト項目の入力時には、トータル量、前回からの増加量のどちらでも入力ができること。また、値の入力だけでなく、少量、不明の記載が可能であること。
7　1　8		看護記録作成機能	看護計画による入力ができる機能を有すること。
7　1　9		看護記録作成機能	手術中に他室の看護記録を参照できること。また、このとき参照画面は1分ごとに自動的に更新されること。
7　1　10		術前、術後回診入力機能	術前回診、術後回診はタブレット端末を使用でき、容易に入力できること。
8　1　1		ステータスモニタ表示機能	手術情報は、手術室・手術開始予定時間順に表示する機能を有すること。
8　1　2		ステータスモニタ表示機能	手術予定、麻酔記録とリンクし、各手術室のイベント状況を表示して、自動的にアップデートされる機能を有すること。
8　1　3		ステータスモニタ表示機能	一画面に表示できない件数になった場合は、定期的に画面切り替えを行う時間を設定できる機能を有すること。
8　1　4		ステータスモニタ表示機能	表形式、帯グラフ形式が選択できること。
8　1　5		ステータスモニタ表示機能	手術時間が予定時間を超過した場合には、任意の表示色に変更できること。
8　1　6		ステータスモニタ表示機能	入室、麻酔導入、手術開始、手術終了、麻酔覚醒、退室の各時間毎に色分けできること。
9　1　1		検索・統計機能	以下の検索条件を複数設定し、該当する記録を一覧表示する機能を有すること。 患者ID、性別、年齢、血液型、身長、体重、手術実施日、診療科、感染症、麻酔科医、術者、手術部位、実施術式、確定診断名、麻酔方法、手術時間、麻酔時間、出血量合計、使用薬剤、偶発症、体位等
9　1　2		検索・統計機能	検索結果の一覧表から検索結果患者毎に術前診察情報、術中麻酔記録、術後診察画面を参照できる機能を有すること。
9　1　3		検索・統計機能	以下の集計を行い、集計毎に指定されたフォーマットで印刷する機能を有すること。 手術室毎の月間・年間利用状況、科別毎手術予定時間と実際の手術時間差の月間・年間の集計、麻酔科医別・麻酔方法の月間・年間の集計、麻酔科医別・麻酔時間の月間、年間の集計
9　1　4		検索・統計機能	手術室毎の稼働状況、予め設定した手術枠の使用状況の集計ができること。
9　1　5		検索・統計機能	麻酔科医、看護師、臨床工学技士の個人別経験術式数を集計できること。
10　1　1		医療情報システムとの連携	連携に関して以下の要件を満たすこと。
10　1　2		医療情報システムとの連携	病院情報システムとの相乗りができること。

番号	機能区分	小分類	仕様
10 1 3	ソフトウエアに関する要件	医療情報システムとの連携	特別なアプリケーションをインストールすることなく、病院情報システムの端末を使って麻酔記録の参照ができる機能を有すること。
10 1 4		医療情報システムとの連携	麻酔記録は一画面に表示する時間幅を病院情報システムの端末を使って変更できる機能を有すること。
10 1 5		医療情報システムとの連携	病院情報システムで本ソフトウェアを起動する場合は、電子カルテ上で開いている患者のIDに紐づいて起動することができる機能を有すること。
10 1 6		医療情報システムとの連携	術前/術後診察については病棟の病院情報システム端末から入力できる機能を有すること。
10 1 7		医療情報システムとの連携	病院情報システムから利用者マスタ、薬剤マスタなどを受信できる機能を有すること。
10 1 8		医療情報システムとの連携	病院情報システムから、以下の手術・麻酔申し込み情報を受信する機能を有すること。 診療科名、患者氏名、患者ID、年齢、生年月日、性別、身長、体重、病名、入力者、術者、助手、手術予定日、予定術式、予定手術時間、血液型、感染症、術前合併症と治療経過など
10 1 9		医療情報システムとの連携	確定した手術スケジュールを病院情報システムへ送信する機能を有すること。
10 1 10		医療情報システムとの連携	病院情報システムから中央検体検査結果内容(血液ガス分析値含む)を受信する機能を有すること。
10 1 11		医療情報システムとの連携	病院情報システムへ手術手技・時間、麻酔手技・時間、使用薬剤(麻酔薬、その他)、スタッフの情報を送信する機能を有すること。なお、医事システムにも情報を送信する機能を有すること。
10 1 12		医療情報システムとの連携	病院情報システムから確定術式等の情報を受信する機能を有すること。
11 1 1		JSA台帳作成機能	日本麻酔学会提出レポート(JSA台帳)との連携に関して以下の要件を満たすこと。
11 1 2		JSA台帳作成機能	本システムで有するデータで、JSA麻酔学会台帳に必要なデータを出力する機能を有すること。
11 1 3		JSA台帳作成機能	偶発症の入力の際、必須項目が抜けていれば警告を出す機能を有すること。
12 1 1		処置伝票作成機能	麻酔関連の診療報酬請求に必要な情報(麻酔時間や処置、薬剤)が記載された麻酔伝票をPDF出力できること。
13 1 1	人工心肺記録作成機能	人工心肺記録作成機能	現在当院で使用している人工心肺記録システム(メディカルトライシステム社製　PC CAPTEN)と接続可能であること、もしくは直接人工心肺装置と接続し本システムにおいて人工心肺記録の作成が可能であること。 接続に必要な費用は全て含むこと。
13 1 2		人工心肺記録作成機能	プライミングボリューム、プライミング液組成を入力できること。
13 1 3		人工心肺記録作成機能	人工心肺の基本データ(予定/緊急、脳分離の有無、脳分離の有無、プラミング量、輸血の有無、IABPおよびPCPSによる補助循環に関する内容、使用機器、機材、材料)を記録できること。
13 1 4		人工心肺記録作成機能	人工心肺運転中のデータ(酸素流量、送血温、脱血温、血圧、CVP、直腸温、膀胱温、食道温、血液温、血液ガスデータ)を記録できること。
13 1 5		人工心肺記録作成機能	人工心肺運転に関するイベントを入力できること。
13 1 6		人工心肺記録作成機能	薬剤・血液の使用量実績を計算できること。
13 1 7		人工心肺記録作成機能	輸液・輸血を区分けして、水分出納を計算できること。
13 1 8		人工心肺記録作成機能	帳票として印刷できること。
14 1 1	医療機器との連携機能		外部機器との連携については以下の要件を満たすこと
14 1 2			以下の機器との接続を行うこと
14 1 3			麻酔器(ドレーゲルメディカル　Fubius GS Premium, Fubius GS)
14 1 4			ベッドサイドモニタ(日本光電工業　BSM-6701) ベッドサイドモニタからは波形データを取り込むことができること。波形データは72時間以上保存できること。

番号	機能区分	小分類	仕様
14　1　5	医療機器との連携機能		BISモニタ(A-2000XP)
14　1　6			心拍出量計（VigilanceⅡ）
14　1　7			INVOS5000
14　1　8			特定の医療機器のメーカ、型式等に関わらず、外部出力可能な医療機器からのデータ受信および保存、参照が可能であること。
15　1　1			手術室内におけるネットワークは有線LAN方式および無線LANの併用とすること。 特にアクセスポイントは手術室内が適切な通信環境となるように必要台数を設置すること。
15　1　2			機器本体や端末等も含め、すべての機器接続に必要なLAN配線工事とネットワーク機器設置を行うこと。ネットワーク機器の設計・調達にあたっては、当院の医療情報システムネットワーク設備と同等の機能・性能を確保するとともに、既設機器と一体的な保守ができるよう留意すること。機器本体側での安易なカスケードHUB設置は認めない。医療情報システムへの影響が無いよう、システム運用担当部門および当院指定の接続業者と調整のうえ、接続にあたっては十分に留意すること。
16　1　1			患者から取得した全てのデータは72時間以上保存が可能であること。
17　1　1	保守・障害対応に関する要件		通常の使用状況で発生した故障の修理および定期点検の実施体制が整備されていること。
17　1　2			保守、修理請負業者は医療機器修理業の許可を受けていること。
17　1　3			保守、修理請負業者は常時当院からの連絡に対して障害対応できること。
17　1　4			リモートルータを使用し、遠隔からのサーバ、クライアント端末のリモートメンテナンスが可能であること。
17　1　5			リモートメンテナンスを行うための通信環境の設置に係る費用は全て含むこと。
17　1　6			サーバのメーカについては各社提案による。端末を含めたその他周辺機器については、既存の医療情報システムと一体的な保守ができるよう留意すること。
18　1　1	全体に係る要件		本システムにおける表示言語は一般的な医学用語を除きすべて日本語を使用していること。
18　1　2			日本標準時刻への同期や電子カルテとの時刻同期により、時刻情報の真正性や修正履歴管理による真正性を確保し、電子カルテ3要件に準拠した性能・機能を有すること。
18　1　3			端末設置、セットアップ、ソフトウエアインストール、配線等、本システムの設置に係る工事は、当院の指定する方法すべて行い、費用は全て含むこと。また、当院の医療情報システム（医事システム含む）との連携システム構築に要する費用は全て含むこと。
18　1　4			周辺機器も含め、設置時までに装置等の仕様変更やソフトウエアのバージョンアップが行われた場合は、最新の仕様で設置すること。また、納入後１年以内のソフトウエアバージョンアップには無償で対応すること。
18　1　5	全体に係る要件		納入後１年間は本システム導入に係る一切の支援業務を継続して実施すること。
18　1　6			日本語に対応した取扱説明書を有すること。